神戸大学交響楽団
第三回定期演奏会

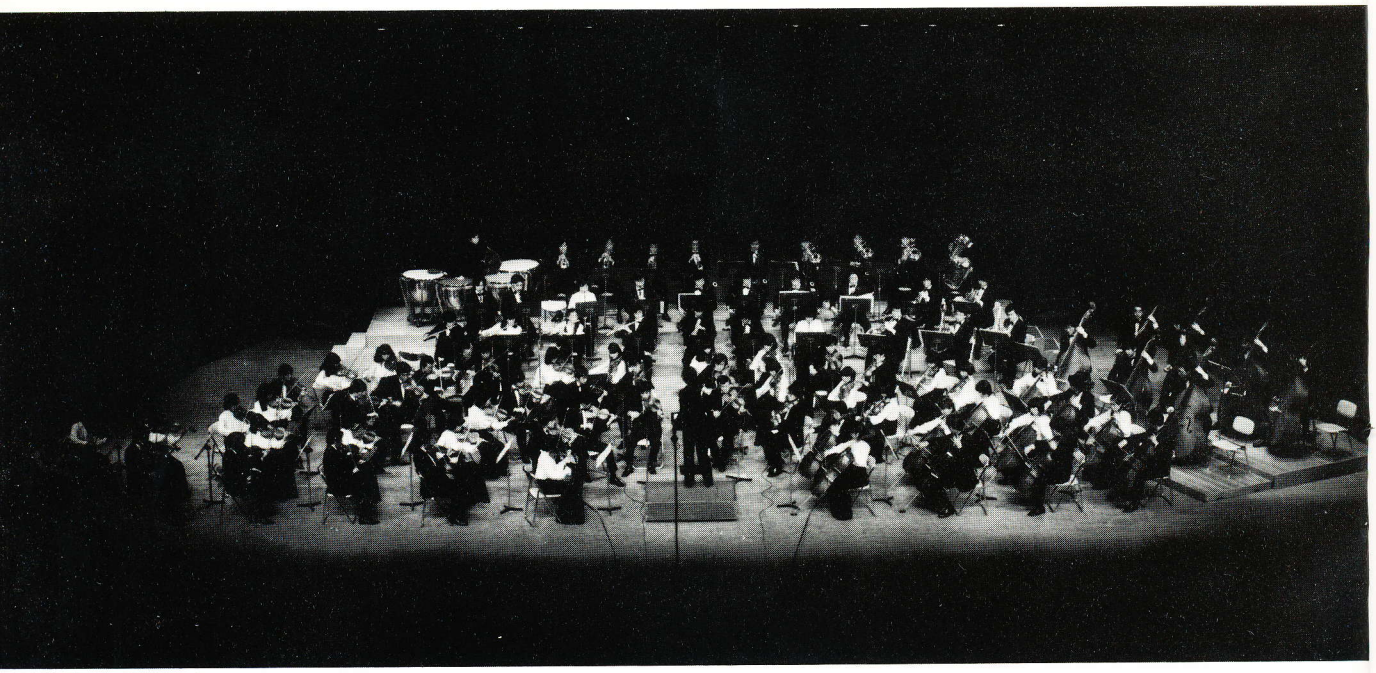
昭和五七年一二月一〇日（金）

午後七時　開演

於　神戸文化ホール（大）

Robert Schumann

by Makoto S.



プ　ロ　グ　ラ　ム

「大学祝典序曲」作品80 ……J. ブラームス

指揮　金　洪才

「八つのロシア民謡」作品58 ……A. リヤードフ

指揮　大山浩邦

休　憩

交響曲　第1番「春」作品38 ……R. シューマン

指揮　金　洪才

プロフィール

指揮者　金　　洪　才

1954年10月10日　兵庫県伊丹市に生まれる。5才よりピアノを古里澄子氏に師事。

1973年4月、桐朋学園大学音楽学部デュプロマ・コースに入学。指揮を堤俊作、小沢征爾、秋山和慶、森正諸氏に師事。

1978年3月、東京シティ・フィル特別演奏会でデビュー。

12月　桐朋学園オーケストラ第49回定期演奏会で指揮。

1979年9月、第14回民音指揮者コンクールで2位と初めての特別賞（斉藤秀雄賞）を合せて受賞、注目を集める。

1979年10月、朝鮮民主主義人民共和国文化芸術部（文化省）の招きにより、祖国を訪問し、朝鮮国立交響楽団を指揮し、絶賛を博す。

1979年5月、大阪フィルハーモニー交響楽団、1980年3月名古屋フィルハーモニー交響楽団、1980年4月九州交響楽団の〝朝鮮管弦楽特集〟演奏会で初演指揮し、大好評を博す。

1980年6月、テレビ番組「オーケストラがやって来た」400回記念新専属指揮者オーディションで2百数名の中からえらばれ、話題となる。

1981年1月、NTV日本テレビ系「私の音楽会」の専属指揮者にもえらばれる。

1981年4月、東京シティ・フィルハーモニック管弦楽団指揮者となる。

金さんの練習を経験した当団員の感想

・指導の方法が簡潔で丁寧。
・将来の大指揮者！
・くび切らないでー。
・わかりやすくて表情豊かな指揮だなあ。
例えば〝もうチョックラクレシェンド〟〝そこに隠れマツバがあると思って〟というような専門用語が気になった。
・表現したいことはわかるが、その通り弾けないのがもどかしい。
・独身やったらええのになあ。

本番直前の練習まで来てもらえないというのに指示がtempoやdynamicsに関することにとどまったことに対して、自分たちの反応の鈍さを再認識した。その証拠に金さんの感想として「かっこいい」「素敵」（主に女子）、「奥さんの方がもっといい」（一部男子）挙げている者が多かった。この事実は現在の神大オケを如実に表わしていると言えよう。